

小山三中コミュニティ・スクール通信

2025年6月10日 小山第三中学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）発行 第12号

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクール（CS）は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供達の豊かな成長を支え、「地域とともにある学校を進める法律に基づいた仕組みです。

今年度も、PTAや地域ボランティアの代表と校長を含め9名の委員で様々な意見を出し合い、「地域とともにある学校づくり」を目指して話し合いや活動を行なっています。



第一回協議会 5月27日（火）14：35～ 小山三中全会室



令和7年度コミュニティ・スクール組織

会 長	（元PTA会長）
副会長	（図書館ボランティア）
委 員	（学識経験者・保護司）
委 員	（大谷地区社協福祉コーディネーター）
委 員	（元PTA本部役員）
委 員	（三支会）
委 員	（図書館ボランティア）
委 員	（PTA本部役員）
委 員	（小山三中校長）

主な協議内容

- 1 令和7年度学校運営協議会委員任命
- 2 自己紹介と組織作り
- 3 学校運営基本方針の確認
- 4 前年度の学校運営協議会の成果と課題の確認・成果

学校運営協議会後のCS通信が地域に回覧されている。

施設（じゃあまたね）のシャッターアートが完成し美術部と地域とをつなぐ活動となった。

昨年度3月にボランティア交流会を実施し、好評だった。今年度も実施予定。

1年生で実施した「地域の先輩に学ぶ」が昨年度より今年度の方が地域性を考慮した取り組みとなった。

学校運営協議会開催時の授業参観によって、学校の様子を知ることができよかった。

・課題

小山三中ボランティアコーディネーターを配置し学校とボランティアをつなぐ。

ボランティア活動での三中スタイル確立へ。

はるかのひまわりプロジェクトへのボランティアの積極的な関わり。

学校運営協議会の取り組みを地域へ発信。

- 5 今年度の学校運営協議会の方向性の確認
今年度も昨年の活動を継続する。

はるかのひまわりプロジェクトでは、講演会を実施する。

2学年での「職場体験学習」実施に向け協力する。

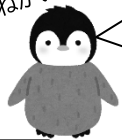
ボランティア活動より



はるかのひまわり苗植え
5月26日実施

はるかのひまわり講演会
6月5日実施

よろしく
おねがいします



三中の
地域学校協同活動
の一部を紹介します

「地域学校協働活動」とは、学校運営協議会で話し合った内容などを踏まえ、地域の高齢者、学生、保護者、PTA、NPO、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

説明します



三
支
会

防災と命を考える

はるかのひまわり絆プロジェクト 講話



今回の
紹介は
4つね



“はるかのひまわり絆プロジェクト”本部代表の松島様をお招きし、阪神淡路大震災や東日本大震災の実体験と復興する人々の絆の強さをお話いただきました。また、三中での取組に関わってきた方々を交えた質疑応答の時間では、三中生からたくさんの手が上がり、一つ一つ丁寧な回答をいただきました。三中生が防災を自分事として考えるきっかけとなりました。

三
支
会

- 5月12日(月) 朝の挨拶運動開始(正門にて)
- 5月14日(水) “はるかのひまわり”花壇づくり
- 5月26日(月) 美化委員とひまわりの種まき
- 6月5日(木) “はるかのひまわり”講話
三中の生徒と先生の応援団として様々な活動をしています。



職員室前にも種まき



講話の松島様と(右から2人目)

大
谷
地
区
社
協

- 5月29日(木) 花の苗の定植活動
マリーゴールドの苗を100株寄付。“はるかのひまわり”の周りに美化委員会の生徒と一緒に植えました。貴重な世代間交流活動です。



マリーゴールドはセンチュウ対策でひまわりを守る効果が期待されます

6/16の職員室前



おかげで
おおきく
なったよ



図
書
ボ
ラ
ン
テ
ィ
ア

- 6月12日(木)から今年度の活動開始
“三中生にとって居心地の良い図書室”となるような環境づくりや本の修理などを行っています。
(月2回程度)



図書室前のディスプレイ



修理しながら話し合い

お
は
な
し
フ
ル
ー
ル

- 5月28日(水) おはなし会の為の勉強会
6月17日(火) 第1回 おはなし会開催



おはなし会は朝の20分間
全学級で同時開催できました

どんなおはなし、絵本を届けたらよいか勉強会で検討しています。
生の声を大切に読書の面白さを伝えられるよう活動しています。